

伯新聞

Caixa No. 375 Phone. 2-3926

診察時間 午後三時より

植民事業の整理

合同計画を立てよ

海軍と組合、それは目下の所...

サツと吹いた政界の煽風

「後継問題怪しむれ」...

公使來聖

講演のため招待されて...

穴ぐら生活の想ひ出

【その四】三里庵...

吾人は前回の本欄に於て、山...

伯國若外交官中の腕利として...

伯國の外交官としての腕利として...

伯國の外交官としての腕利として...

伯國の外交官としての腕利として...

俳句募集

日伯佛壇投句規程

全國漫遊して

CASA TOZAN MIZUKAMI & CIA. Commissarios

F. S. Hampshire & Companhia Ltd. THEODOR WILLE & CIA. BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.

不戦条約決定

【東京二十六日】樞密院は天皇陛下御親臨の上、無保留にて不戦条約を承認し、之れを通過させた。

内田伯辞任

【東京二十六日】前外相内田康哉氏は不戦条約承認に反対なりとして樞密院顧問官の職を辭し、

松島炭礦浸水

【東京二十六日】長崎の高島炭礦では海底炭坑の浸水のため浸水礦夫四十四名逃げ場を失つた。多数死者ある見込。

英露國交復讐か

【倫敦二十五日】新政府は英露露國承認につき聯邦自治政府に對して照會する所があつた。右は前内閣の公約にかゝりマクドナルド氏は之れを繼承したに過ぎない。

大アマゾン記

大アマゾン記の二 三油 大アマゾン記の二 三油 大アマゾン記の二 三油

不戦條約と米國

【華府二十六日】日本の不戦條約批准は非常なる好感を以て迎へられた。之れにて參加國數十ととなる。

州憲法改正

州議會は聯邦のと同じく見角出、州憲法改正案第二讀會につき議員の賛出を行ひ、確定に達した。

道路修繕始まる

サンパウロ市の銀座に相當するル・ア・ヂ・レタは昔の儘の幅で、

チエテ河大改修

州政府は市役所を補助して、チエテ河を改修する所から、

間鐵道工事

サンロケ間鐵道工事の再開は、明年末か、

州憲法改正

州議會は聯邦のと同じく見角出、州憲法改正案第二讀會につき議員の賛出を行ひ、確定に達した。

道路修繕始まる

サンパウロ市の銀座に相當するル・ア・ヂ・レタは昔の儘の幅で、

チエテ河大改修

州政府は市役所を補助して、チエテ河を改修する所から、

間鐵道工事

サンロケ間鐵道工事の再開は、明年末か、

大アマゾン記

大アマゾン記の二 三油 大アマゾン記の二 三油

すゝめ

中島直人

顔を狭い戸のしきりに立ちよさ... 又か、ヤスケさんはよく見る... 顔を狭い戸のしきりに立ちよさ... 又か、ヤスケさんはよく見る...

山上湖風物詩

上 濱 一

夕暮れの日足は速い... 白い貝からのかげらちをちりば... 川向ふの平地の町々... 日影が駆ける...

混和機やぐら

杉 齋 一

頻りに燃る太陽... 顔はせ... 涯なきその顔にせに... 灰色の面紗をひく都會...

旅情

不 三

心になき... たわごとをならべつゝ... 旅をつづくる... 我身はかなし...

つとみかわす... 陸稲會... 枝豆の青きに灯す露... 枝豆や緑蔭の卓黄昏...

枝豆のほげて對座の客の前... 枝豆や話上手に聞き流れて... 夜學子の分れくや星月夜...

星月夜に乙女米研ぐ星月夜... 井戸端に乙女米研ぐ星月夜... 歌ひつゝ河邊に出で星月夜...

星月夜に老女語りぬ月の縁... 枝豆に老女語りぬ月の縁... 外電枝豆ゆでる隣人...

Laboratorio Chim. Phco. "Japonez" RUA ASSEMBLEA N. 31 SAO PAULO. 左の宛名をキリ... 病氣になつたらその初めに充分に手當をなさい...

御料理 しばそんごう 致強勉と精しと旨を清潔、修改内店... 番三十三上坂デシコ

PHARMACIA BARROS ARAÇATUBA 内外薬品一切 調劑は絶体 正確です

DR. K. DAIAN MEDICO Araçatuba 八喜庵大 (隣店商原大)ベイツアラア

ARMOUR Armour of Brasil Corporation FRIGORIFICO - S. PAULO Alameda Cleveland, 34-A - Villa Anastacio (Lapa) Caixa Postal, "4" - S. PAULO

HOTEL CARLTON Rua Libero Badaró 26-1. ホテルカールトン は何故澤山の日本人方から御...

CASA DAS SEMENTES CARLOS CORRADINI RUA S. CAETANO No. 42 - TEL. 4-637 S. PAULO. 新着荷の各種種物

CHEVROLET 新古カミミオン 並に専用自動車の御入用の節は是非...

大坂商船株式會社 早くて確實な 優秀の大型客船 日本へ サントス丸 七月廿二日サントス...

飛んだ気分

杉山 帆影

よく手足を動かすと、自由に身体が飛び上る夢を見る事がある。あれと同じ気分が水面を滑走する。空中へ舞ひ上る。その分、分の狂った。など。今と今だからこそ云へるのだと思はれもしやうが、全く以てたへとやうの

趣味と情操教育としての詩の創造

【其二】 須美生 情熱はかくの如く作者の想像力を通過して繪画的に表現される時、詩の價値が一歩を進めたのである。情熱を直に吐かないので、詩は抑へ作者の氣質を通じて表現する。これが詩のつとめである。情熱の態度である。キーンとフアニーと興へた時、亦同様に、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其三】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其一】 須美生 情熱はかくの如く作者の想像力を通過して繪画的に表現される時、詩の價値が一歩を進めたのである。情熱を直に吐かないので、詩は抑へ作者の氣質を通じて表現する。これが詩のつとめである。情熱の態度である。キーンとフアニーと興へた時、亦同様に、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其二】 須美生 情熱はかくの如く作者の想像力を通過して繪画的に表現される時、詩の價値が一歩を進めたのである。情熱を直に吐かないので、詩は抑へ作者の氣質を通じて表現する。これが詩のつとめである。情熱の態度である。キーンとフアニーと興へた時、亦同様に、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其三】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其四】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其五】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其六】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其七】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其八】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其九】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十一】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十二】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十三】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十四】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十五】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

【其十六】 知覚とえい智 以上詩を作る力の要素として、感情と想像とを挙げたが、つとめは知覚と想像とを兼ねて、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。情熱は、情熱を吐くつとめである。

Pharmacia Tabatinguera 調剤正確迅速 安價、凡ての御 用命に應ず

Dr. JAYME DE OLIVEIRA 手術、分娩、婦人病 エックス線

御料理 秋の夜長の酌は 新開店の鶴の家

ESANOFELINA 小供に水薬 大野鶴龜醸造所

Dr. T. Watanabe 大野鶴龜醸造所

CLINICA DENTARIA 院醫科齒 郎一眞上村

FABRICA DE MACARÃO JAPONEZ SHIROMA & IRMÃO

Garage Congresso 貸自動車は同胞運轉手の居る

Casa Palma 正直 薄利多賣

Casa Uehara 賣販貨雜及品料食

Engenheiro Civil 土木測量、建築、機械設 計、製圖、蒸氣汽罐、汽 械据付の御需に應ず

HOTEL PAZ 大坂商船會社仲次 伯國産産製造元

Hotel S. Paulo 各船舶に食糧賣込業

東洋旅館 人氣の中心アルトカフエザール

Stewart 株式會社

お産の御相談なら 倉本せい子 絶好の機會

コロノ及耕地監督募集

CASA JAPONESA 村上商店

Ao Mundo Elegante 聖市の流行は 日本人諸君に御氣に

御婦人方用 外套、お召もの

大岡政談

林不忘作

川源十郎

第七回

用人の代理といつて、札差し

「お入りますか、御印形を？」



Elixir Noqueira grande deparativo de sangue

梅毒妙薬

萬國藥店に有り

村田寫眞館

フエルナンデラス101

聖市ビネイロス

「お入りますか、御印形を？」

武田商店 運送物 運送物 運送物

子葉 防迫菓子店 聖市ビネイロス

旅館運送業 岡野甚造 岡野爲松

東洋寫眞館 現像、焼付、引のび

聖州義塾 寄宿舎、夜學校 葡語通信教授

サンパウロ教會 日曜學校(午後四時) 大人集會(午後八時)

葡語修學者唯一の羅針盤 大武和三郎氏著 葡和辞典

瀨木商店 伯國語會話書 送料共七十五分

F. Ambrosio & Cia. Rua José Bonifacio, 39 Phone 2-1298

化學肥料販賣 硫酸アンモニア、智利硝石

日本人諸君! 氣をつけ給へ!! ELIXIR 914

ADUBOS FORTUNA RUA SÃO BENTO NO. 23 Caixa, 1002 - S. Paulo

Fernando Hakratt Cia. Rua de S. Bento, 23, 2 and. sala 7

CASA GONÇALVES RUA GENERAL CARNEIRO, 53-55 FILIAL 35

通關手續取扱事務所 主任 小淵友市

CHEVROLET 専用貨物用に最も新式で堅牢で経済な シプロレー

日本人

綿作者を推稱
サンパウロ州の州代議士で...

誕生

在聖市日本人教化に努力して居る...

お捕ひて管内旅行

中島總領事川西領事は原口書記...

梅谷光貞氏 近々退院

旅行中足の裏をスリむき、それが...

アマゾン 社長来聖

アマゾン州マウエス郡にアマゾン...

コチャ便り

二十三日ジャワレ在邦人小學校...

リンズ便り

相變らず金銀通過のためシチオ...

珈琲

現物市場は相變らず活気乏しく...

小倉商店

ブラジルに移轉した小倉嘉兵衛氏...

北村豊次氏

北村豊次氏 總領事館農事...

伊藤陽三氏

伊藤陽三氏 二十五日出聖...

海外興業會社

海外興業會社 和歌山縣...

物價表

Table with 2 columns: Item (e.g., 米, 豆, 糖) and Price.

汽車時間表

Table with 2 columns: Station and Time.

日本郵便物簡便

七月五日 郵便物簡便...

尋人

久保田宗一 久能巳之吉...

海外興業會社

海外興業會社 伯國支店...

土地賣却

土地賣却 リベロン・ヒリス...

代理人募集

代理人募集 日本人相手の商賣に従事する...

小宅隆四郎君

小宅隆四郎君 教育には「Little Moto」...

伊藤陽三

伊藤陽三 御大禮献上品收支決算報告...

御大禮献上品收支決算報告

御大禮献上品收支決算報告 収入の部...

寄附金

寄附金 六六一六〇〇〇...

差引残金

差引残金 一三六三〇〇〇...

尋人

久保田宗一 久能巳之吉...

海外興業會社

海外興業會社 伯國支店...

土地賣却

土地賣却 リベロン・ヒリス...

代理人募集

代理人募集 日本人相手の商賣に従事する...

小宅隆四郎君

小宅隆四郎君 教育には「Little Moto」...

伊藤陽三

伊藤陽三 御大禮献上品收支決算報告...

御大禮献上品收支決算報告

御大禮献上品收支決算報告 収入の部...

寄附金

寄附金 六六一六〇〇〇...

差引残金

差引残金 一三六三〇〇〇...

右之通りに候也

右之通りに候也 昭和四年六月廿七日...

サンパウロ日本人會

サンパウロ日本人會 歸國みやげは?

歸國みやげは?

歸國みやげは? 歸國者諸君に...

移轉廣告

移轉廣告 拜啓 益々御清榮賀上候陳者弊店儀...

小倉商店

小倉商店 小川旅館...

旭旅館

旭旅館 中山旅館...

中山旅館

中山旅館 東京旅館...

東京旅館

東京旅館 常盤旅館...

常盤旅館

常盤旅館 今回スタンダード社ト代理店ノ...

世界ノ覇者ト云ハルル全社ノ

世界ノ覇者ト云ハルル全社ノ ガゾリーナ...

ガゾリーナ

ガゾリーナ ジヤカレー印...

石油

石油 其他一般オーリヨノ發賣ヲ致シ...

澁谷商會

澁谷商會 ナ此ノ油類ヲ御使用下サイマセ...

カークベルメリア

カークベルメリア 郵函 三〇〇番

郵函

郵函 三〇〇番

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XV

São Paulo — Quinta-feira, 27 de Junho de 1929

Num. 630

NIPPAK SHIMBUN

Propriedade e direcção de:

SACK MIURA

Redactor:
Jorge T. Midorikawa

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil:

Por ano 30\$000
Por semestre 16\$000
Número avulso \$500
Para o Exterior:
Por ano 60\$000

ANUNCIOS

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para anúncios nesta folha. Telephone 2-3926

Louças, Artigos Japonezes e Nacionaes

K. NISHITANI

IMPORTADOR E EXPORTADOR

Rua Conceição, 65
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

Dr. Yempei Kikuchi
MEDICO

REGISTRO — IGUAPE

OS "SHIMBUNS"

"Nambei Shimpô" —
Direcção de Nanshu
Sakaida — S. Paulo,
1929

Não me lembro neste momento quem o disse, mas sei dizer que ha uma asserção mais ou menos seguinte: "O jornal é uma revelação. O progresso de uma terra se conhece pelas suas columnas." De facto. Ha nisso uma verdade inophismavel. Assim como a tiragem de um jornal representativo da imprensa de uma nação serve para medir o grão de sua civilização — principalmente intellectual, o progresso de um determinado nucleo humano parallela sempre o do seu organ porta-voz. O jornal é — sou insuspeito para affirmar — um pharol de defeza para a localidade que o possui. Verdade seja que a mercanisação por que soffreu o jornalismo no universo, pouco depois da entrada no presente seculo, transformou uma grande parte dos jornaes em machinismo com que o capitalismo pretende fazer a duplicação

dos seus capitais. É este, infelizmente, o aspecto real da imprensa actual em certos paizes, se bem que ha também excepções que guardam, embora com difficuldades, as tradições ethicas de outros tempos.

A fundação de "Nambei Shimpô" significa, nesse conceito, o progresso da colonia japoneza em São Paulo. O seu director, sr. Nanshu Sakaida, manteve aqui em São Paulo, uma revista mensal impressa em mimeotype, até ha pouco tempo. Com franqueza, não gostei da orientação dada a "Nambei Hyoron" que, ao emvez de ser um organ literario e imparcial, pela especie a que pertence, mostrava uma cor politica, se não é partidaria. Por isso mesmo, é ainda maior do que poeria ser, a nossa admiração ao ver o programma do novel collega que acaba de vir á luz. No jornalismo, o mais de testavel de tudo, inclusive a mercanisação, é ter paixões partidarias ou feição official, senão officiosa, nas pennas. A mercanisa-

MATRIZ - RIO
Rua Theophilo Ottoni, 85
CASAS NO JAPÃO
NAGOYA, KOBE E YOKOHAMA

Endereço Telegraphico:
"HACHIYA"

Hachiya, Irmãos & Cia.

IMPORTADORES DE LOUÇAS, BRINQUEDOS, ARMARINHO E ARTIGOS JAPONEZES

R. Brigadeiro Tobias, 110
TELEPH. 4-7688

SÃO PAULO
CAIXA POSTAL, 2670

nece ainda desconhecido do seu povo visinho em suas particularidades. Os yankees, na maioria, conhecem apenas o monte "Fuji" e as "gueshas". No intuito de introduzir a arte e a literatura japonezas entre os americanos do Norte, acaba de ser fundado um centro de cultura nippo-americano em Nova York. O novo centro que tem á sua testa grandes figuras intellectuaes, está sob auspícios dos importantes capitalistas yankees, entre elles Rockefeller.

QUANTO GANHA UM JAPONÊZ NO JAPÃO?

TOKIO, Maio de 1929 — O Serviço Estatístico do Imperio acaba de publicar dados sobre a vida do povo japonês, divulgados num inquirito que lhe custou muito tempo e energia. Segundo esses dados, o japonês ganha annualmente 224 yens; gasta 156 yens; paga 34 yens de impostos; e guarda 34 yens.

O ALGODÃO BRASILEIRO

Sua situação actual no mercado e seu futuro
"Exgotado o stock actual de tecidos estrangeiros, animará a industria nacional — diz o dr. Orlando Prado. Dahi a valorização do algodão nacional."

No nobre intuito de animar os agricultores de algodão e incentivar ao mesmo tempo a industria nacional, esteve ha dias em nossa redacção, o sr. dr. Orlando de Almeida Prado, illustre secretario da Camara dos Deputados, manifestando-nos suas valiosas opiniões sobre o futuro da cultura de algodão no Brasil.

Na secção competente desta folha sae publicada a interessante palestra do dr. Orlando Prado,

DR. S. TAKAOKA
MEDICO - OPERADOR
Rua Fagundes, 8
Tel. 2-4180 S. PAULO

Padre Guido del Toro

Transcorreu, hontem, mais um anniversario sobre a preciosa existencia do revdm. padre Guido del Toro, illustre cura dos japonezes desta capital, que conta importantes obras de apostolado, convertendo elevado numero de japonezes á religião catholica. Afim de prestar homenagem ao seu pae espirital, os japonezes catholicos desta capital fizeram celebrar hontem, ás 8 horas, uma missa na Igreja de S. Gonçalo, pelas intenções de seu evangelizador e em acção de graças pelo acontecimento auspicioso. O virtuoso sacerdote recebeu nesta occasião, calorosas manifes-



O CURTO-CIRCUITO

Não desapareceu ainda hoje da nossa memoria o que succedeu com a diplomacia japoneza na conferencia da paz reunida em Ports-mouth, em 1905, para dar o fim á grande guerra russo-japoneza. Essa conferencia foi um desastre á diplomacia japoneza chefiada pelo Marquez de Komura, uma das figuras preeminentes na diplomacia do Sol Nascente. Foi desastre, porque os russos estavam ao par de todas as instruções e ordens emanadas do governo japonês aos seus representantes e do governo americano ao seu embaixador na Russia. Todos os segredos que os diplomatas nipponicos e yankees tinham como taes, eram divulgados com maior amplitude pelo russos, que os aproveitavam immediatamente para suas negociações diplomaticas.

Este facto, aliás de summa gravidade, veio apparecer ao conhecimento publico ainda ha poucos annos, quando o antigo grande Imperio asia-europeo fóra pintado pelo vermehismo chefiado por Lemine.

Certo dia appareceu um individuo na embaixada japoneza de Paris, declarando ser russo e possuidor de um documento importante para o governo japonês. No começo, o embaixador não deu importancia, considerando-o como um simples pedinte de dinheiro. Mas em vista de certas provas por elle apresentadas, o embaixador concordou em attender o dese-

jo do russo misterioso. Este, então, narrou todas as façanhas por elle chefiadas para se apoderar do código telegraphico privado da diplomacia japoneza, sem que tal facto fosse sentido pelo governo japonês.

Agora é uma revista ingleza que divulga um documento privado do ministro das Defezas Nacionaes da Allemanha.

Esse ministro tivera organiado, debaixo de uma reserva restrictissima, um plano de armamento naval para seu paiz. Sabia elle perfeitamente que esse plano ia chocar-se com as opiniões do parlamento, cujo numero é constituído em grande parte por comunistas, contrarios ao armamento. E fel-o reproduzir em varias vias, distribuindo-as entre as auctoridades competentes, para seu estudo preliminar. E o documento, distribuido com tamanho cuidado, sahira publicado, dentro de pouco tempo, numa revista ingleza! O auctor desse documento pediu, agora, a todos que receberam uma copia desse, a restituição da mesma, afim de descobrir a origem dessa publicação misteriosa.

No electrecismo, taes acontecimentos se classificam de curto-circuito e é um phenomeno muito natural que se verifique constantemente. Só é humanamente impossivel rehavere a electricidade que fugiu no circuito...

ção, excluido o sentido vulgar de desvirtudes, é hoje em dia, uma necessidade que se impõe á manutenção de um jornal. A culpa não nos cabe. O factor determinante desse phenomeno social está com

a tendencia geral da vida contemporanea universal.

Pois bem. Será um desafio sustentar um programma de tamanha nobreza, como o que acabam de traçar os collegas de "Nambei Shimpô". Será uma victoria do jornalismo independente a que pertencemos, o exito desse desafio glorioso.

Sobretudo, o primeiro numero de "Nambei Shimpô" deixou, em suas columnas, traços vivos dos esforços do seu director, que lutou, sem tregua, contra a falta do material graphico. É mais um ponto que merece os nossos melhores enconomios. — I. I. Midorikawa

I. SHIOKAWA

UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA MARCA Noritake

SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 96-B
TELEPHONE 4-6387
CAIXA TELEPH. 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

Movimento Diplomatico

Dando execução ao programma que já tivemos oportunidade de divulgar, seguirá no proximo dia 28 a Bauri, onde vai iniciar suas visitas ás colonias japonezas localizadas na zona da Noroeste do Brasil, o sr. dr. Seitiro Nakashima, consul geral do Japão nesta capital, acompanhado do consul adjunto sr. Toyoso Kawanishi e do chanceler, sr. Shitiro Haraguti. O sr. Nakashima regressará dessa viagem no dia 12 de junho p. futuro.

"O JAPÃO EM SÃO PAULO"

— FUNDADA EM 1906 —
ARTIGOS JAPONEZES EM GERAL

RUA S. BENTO, 60 — S. PAULO
Telephone: 2-2788 Caixa Postal, 344

DO JAPÃO

(Das Nossas Succursaes)

A VIAGEM IMPERIAL AO OESTE JAPONÊZ

Por motivo de alguns casos de peste verificados no Oeste, ficou adiada para os fins de maio

TOKIO, Maio de 1929 — O ministro da Casa Real acaba de convocar uma conferencia dos prefeitos das provincias por onde vae percorrer o imperador Hirohito, em sua proxima viagem pelo Oeste desta ilha, afim de deliberar o adiamento dessa viagem, em virtude de terem sido verificados alguns casos de peste naquella zona, ultimamente.

Segundo ficou deliberado nessa conferencia, a viagem imperial se iniciará em 28 do corrente mez e terminará em 8 de junho proximo.

O PROBLEMA DE COLLOCAÇÕES

Augmenta consideravelmente o numero dos sem collocação

TOKIO, Maio de 1929 — As agencias de collocações espalhadas por toda parte do territorio registrou, durante o mez de abril ultimo, 63.438 procuras contra 74.184 ofertas, tendo sido collocados apenas 22.314 pessoas. Em relação ao mez de março, verificou-se um decrescimo de 11.530 procuras, contra o aumento de 1.035 ofertas. Comparando esse movimento com o do igual periodo do anno passado, verifica-se um augmento de 3.203 sobre as ofertas, quando o numero das procuras decresceu de 2.376.

O stock de arroz no Japão

O povo japonês não terá elevado, este anno, o custo do genero de primeira necessidade

TOKIO, Maio de 1929 — O stock de arroz este anno é bastante feito em relação aos annos anteriores, tendo sido calculado em . . . 3.322.000 koku (quasi 182 litros por cada "koku") o verificado no corrente mez. Diante desta abundancia de stock, é possível que o arroz mantenha seu preço regular, não acontecendo o que acontece quasi todos os annos.

O imposto municipal da capital

TOKIO, Maio de 1929 — O sr. Horikiri, novo prefeito da capital, declarou á imprensa que está decidido a elevar o imposto municipal da capital, afim de fazer face a varios melhoramentos urbanos que pretende introduzir nas ruas desta cidade.

Um jornal inglez suspenso pelo governo nacionalista

TOKIO, Maio de 1929 — Segundo um despacho hoje divulgado pela imprensa local, o governo nacionalista da China que ha tempos prohibira ao correio, aos vapores e ás estradas de ferro, o transporte do jornal inglez "North China Daily News" que se publica em Shanghai, acaba de prohibir a circulação do referido jornal, sob o pretexto de ser a sua orientação contraria ao governo nacionalista.

Essas attitudes ultimamente tomadas pelo governo nacionalista contra a imprensa estrangeira, está causando pessimas impressões em todos os estrangeiros residentes na China, sendo possível que taes impressões determinem uma marcha ré ao problema da extincção do regimen de jurisdicção extraterritorial ora em andamento.

O JAPÃO ENTRE OS YANKEES

TOKIO, Maio de 1929 — O Japão, apesar de ter amplas relações com o povo norte-americano, perma-

AVISO

Em consequencia dos trabalhos de remodelação a que está procedendo a Companhia Telephonica Brasileira, ficou alterado, desde 18 do corrente, o numero do telephone da nossa redacção para

2 - 3926

Novamente em foco a reforma de tratados

Empossado na pasta das Relações Extranjeiras, no governo Itow, em 1892, Mutsu tratou logo de iniciar os estudos preliminares sobre a reforma de tratados entre o Japão e outras potencias, obra essa que custou a dissolução de tres governos successivos. A situação do novo ministro era bastante melindrosa e não lhe permitia que manifestasse qualquer tentativa a respeito, porquanto os olhos de varios membros do gabinete, entre elles Itow e Inouye que já beberam calices e calices de amarguras do insuccesso das suas tentativas mantinham, observadores, as mais rigorosas fiscalizações em torno das suas attitudes. Manifestar qualquer attitude, seria, portanto, o fracasso do seu plano grandioso. Por isso, Mutsu incumbira, muito reservadamente, ao seu secretario Keigui Nakada e seu consultor juridico Denison, a redacção da proposta que deve servir de base á reforma dos tratados internacionaes. E o plano de Mutsu estava sendo organiado, sem que ninguém sentisse tal!

Nakada, que foi auxiliar incansavel de Mutsu nessa obra, era samurai de Kaga e estudou, quando moço, em Peking. Terminados os estudos, foi elle designado para servir na legação japoneza em Londres, onde permaneceu quatro annos, no decurso dos quaes travou

FOLHETIM

AS NUENS DO EXTREMO ORIENTE

DE MIDORI KOMATSU
(Traducción de Joe Maddi)

3
conhecimento com Mutsu. Além da intelligencia aprimorada, Nakada era possuidor de uma redacção corrente e agradável em inglez, facto que muito concorreu para maior exito da importante missão. O seu par, Denison, cidadão norte-americano, tinha, antigamente, um escriptorio de advocacia em Yokohama, que não durou muito tempo, pois, em 1879, no governo Itow, elle fora convidado para servir no ministerio do Exterior, como consultor juridico. Era possuidor de uma virtude civica extraordinaria, durante todo o tempo que serviu o governo nipponico, a serviço do qual acabou os seus annos. Para mostrar a sua dedicacão á causa do Imperio japonês, basta citar que quando foi convidado por um capitalista norte-americano para

occupar o lugar de gerente da sua filial em Yokohama, com um ordenado 50 percento maior do que estava percebendo do governo japonês, elle recusara terminantemente a proposta, facto que motivou, mais tarde, a elevação dos seus vencimentos de 50 percento, quando Nakada tomou conhecimento desse louvavel procedimento do seu collega de trabalho.

Itow, o chefe do governo, esperava que seu auxiliar das Relações Extranjeiras pronunciasse qualquer coisa a respeito da reforma de tratados. Mutsu, por sua vez, aguardava a melhor oportunidade para expôr o seu modo de encarar o problema. Essa oportunidade se apresentou: Na volta de uma conferencia ministerial, Itow convidara Mutsu para acompanhá-lo no seu carro. Quando o carro official do primeiro ministro passava pelas proximidades do "Sakuradamon", Itow indagou do seu auxiliar, muito serio:
— Quaes são os passos dados acerca da reforma?
Mutsu respondeu, desagravelmente:
— Se V. Excia. m'os ordena, disposto estou a inicial-os. Se, porém, é para repetir o plano Inouye ou Okuma, preferivel seria não pensar nisso! — Eram fortes as suas expressões.